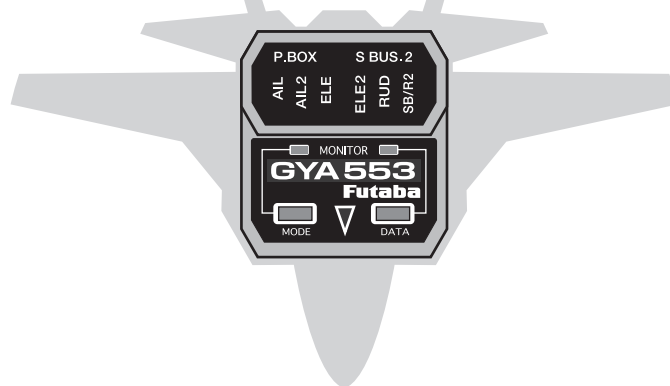
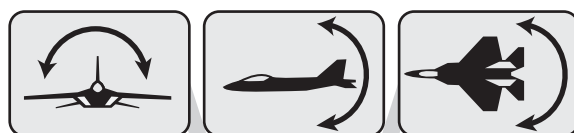




T26SZ
T16IZ
SUPER

GYA553



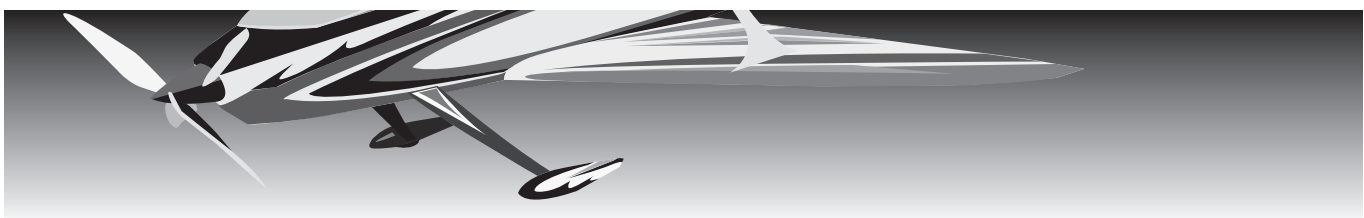
T26SZ,T16IZ(S)

GYA553 Ver.4

設定説明書

Futaba

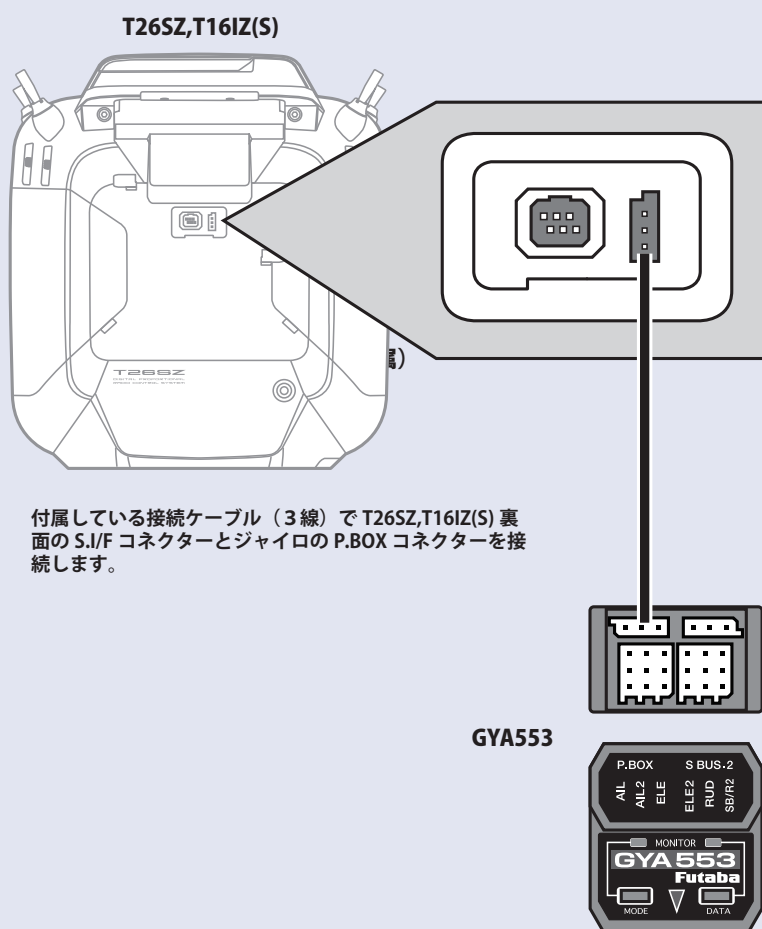
1M23Z08513



ジャイロセッティング

T26SZ,T16IZ(S) と飛行機用 6 軸ジャイロ GYA553 を接続することで GYA553 の設定を行うことができます。

送信機とジャイロの接続



⚠ 注意

- ① ジャイロと T26SZ,T16IZ(S) の接続ケーブルの抜き差しは、必ず電源を OFF の状態で行う。

Gyro setting GYA553

設定方法

1

モデルメニュー	Airplane	コンディション1	7.8V	1/1
サーボモーター	コンディション選択	AFR		
デュアルレート	プログラムミキシング	エルロン → ラダー		
エアブレーキ → エレベーター	ラダー → エルロン	ラダー → エレベーター		
スナップ・ロール	エアブレーキ	ジャイロ		
アクセラレーション	モーター	ジャイロセッティング		

1. 飛行機のモデルメニュー最終ページで『ジャイロセッティング』を選択

2

ジャイロセッティング	Airplane	コンディション1	7.8V
スタート	書込み		

2. 『スタート』を選択

『書込み』を選択すると T26SZ,T16IZ(S) に保存されているジャイロ設定データをジャイロに書込みます。

*この時 T26SZ,T16IZ(S) に Gyro が接続されていないと接続確認画面へ移行します。

GYA553
続けますか?
はい

T26SZ,T16IZ(S) に保存されている GYA553 設定データを確認したい場合は『はい』で確認できます。



『スタート』を押すと Gyro のデータが T26SZ,T16IZ(S) へ読み込まれます。

3

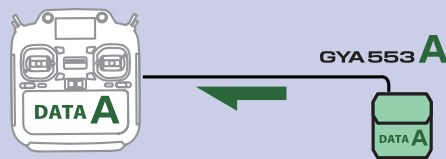
GYA553	Airplane	コンディション1	7.8V
保持力	C5	6.5V	
AIL	ジャイロ	OFF	ベーシックメニュー
ELE	ジャイロ	OFF	
RUD	ジャイロ	OFF	
Gyro Version	2.0		

3. Home 画面表示

◆ジャイロ A のデータをジャイロ B にコピーする場合

スタート	書込み
------	-----

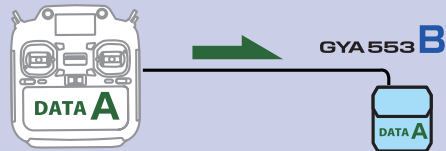
ジャイロ A を T26SZ,T16IZ(S) に接続して [スタート] を押します。(A のデータを T26SZ,T16IZ(S) に入れる)



スタート	書込み
------	-----

ここでスタートを押すと B のデータが T26SZ,T16IZ(S) に読み込まれてしまい A のデータがきえてしまいます。

ジャイロ B を T26SZ,T16IZ(S) に接続して [書込み] を押します。(A のデータをジャイロ B に入れる)



Gyro setting GYA553

ホーム画面

ホーム画面の表示内容

ホーム画面は、電圧、ジャイロ動作モード、感度などの基本情報を表示します。

ジャイロ動作モード・感度(ゲイン)表示:

エルロン、エレベーター、ラダー軸の AVCS またはノーマルの動作モードと設定感度を表示します。

ジャイロ Ver. 表示:

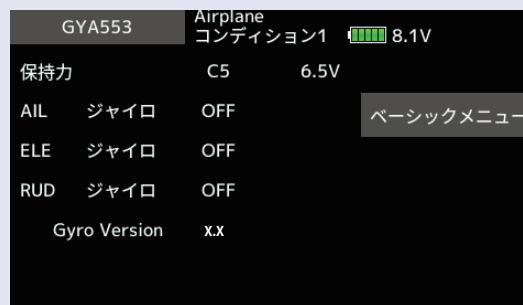
接続された GYA553 のソフトウェアバージョンが表示されます。



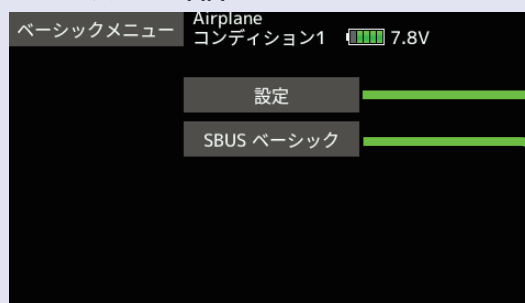
ベーシックメニュー

基本的な設定をするメニューです。各ベーシックメニューは必ず設定が必要です。

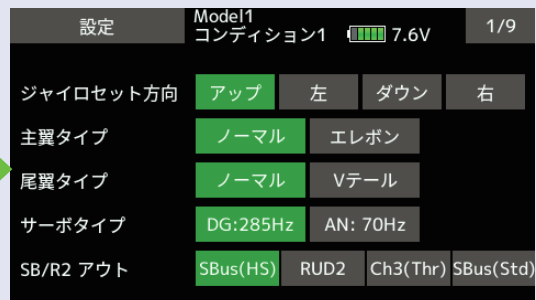
ホーム画面



ベーシックメニュー画面



◆設定



◆SBUS ベーシック



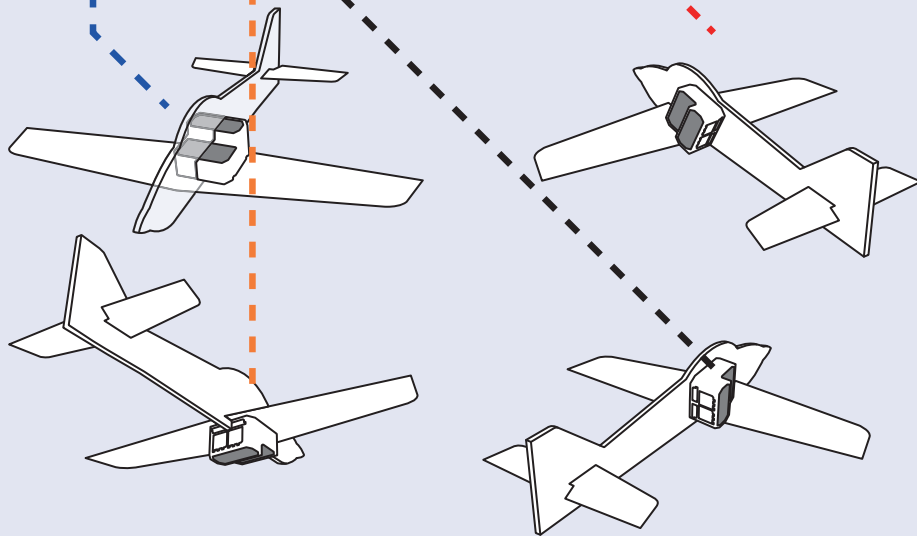
Gyro setting GYA553

設定

設定 1/9 ジャイロセット方向

設定	Model1	コンディション1	7.6V	1/9
ジャイロセット方向	アップ	左	ダウン	右
主翼タイプ	ノーマル	エレボン		
尾翼タイプ	ノーマル	Vテール		
サーボタイプ	DG: 285Hz	AN: 70Hz		
SB/R2 アウト	SBus(HS)	RUD2	Ch3(Thr)	SBus(Std)

機体へのジャイロ搭載方向を入力します。

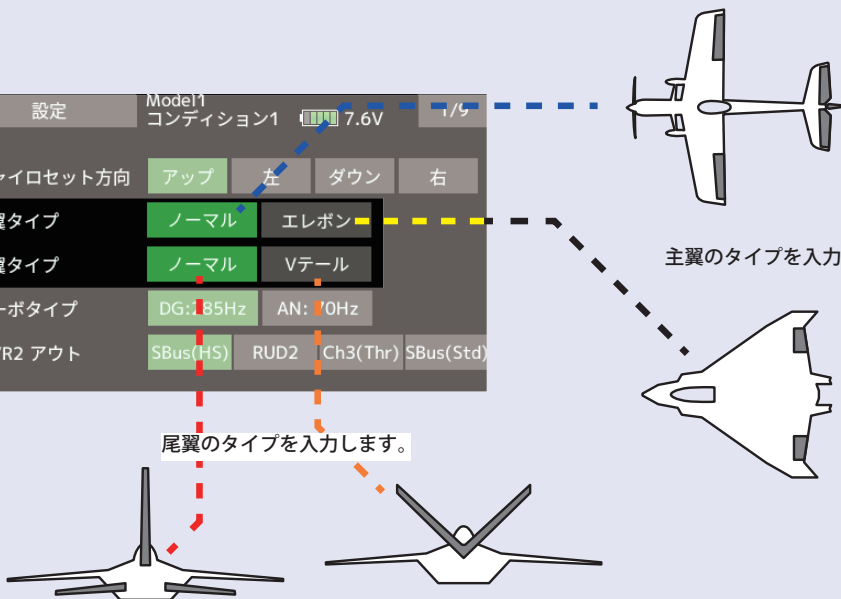


設定 1/9 主翼 / 尾翼

設定	Model1	コンディション1	7.6V	1/9
ジャイロセット方向	アップ	左	ダウン	右
主翼タイプ	ノーマル	エレボン		
尾翼タイプ	ノーマル	Vテール		
サーボタイプ	DG: 285Hz	AN: 70Hz		
SB/R2 アウト	SBus(HS)	RUD2	Ch3(Thr)	SBus(Std)

主翼のタイプを入力します。

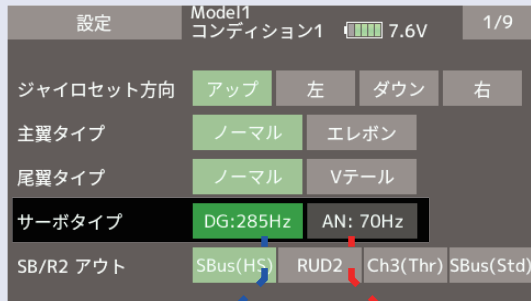
尾翼のタイプを入力します。



Gyro setting GYA553

設定

設定 1/9 サーボタイプ

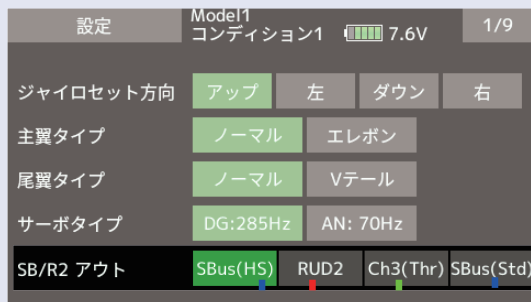


サーボタイプを入力します。

デジタルサーボ

アナログサーボ

設定 1/9 SB/R2 アウト



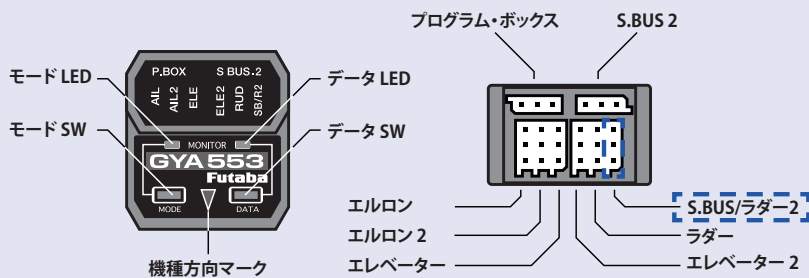
SB/R2 のポートを選択します。

S.BUS(HS)
SV サーボを接続する場合は、S.BUS(HS)をご使用ください。

ラダー 2 スロットル

S.BUS(STD)

S3175HV、DLPH-1 など、S.BUS(HS)では動作しない場合、S.BUS(STD)を使用してください。



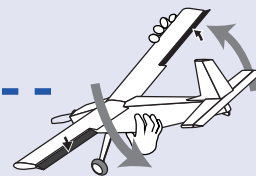
Gyro setting GYA553

設定

設定 2/9 ジャイロ動作

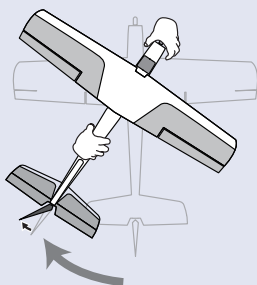
設定		Model1 コンディション1		7.6V		2/9	
ジャイロ動作							
AIL	ノーマル	AIL2	ノーマル				
ELE	ノーマル	ELE2	ノーマル				
RUD	ノーマル	RUD2	ノーマル				
AIL3	ノーマル	AIL4	ノーマル				

ジャイロ動作方向を入力します。

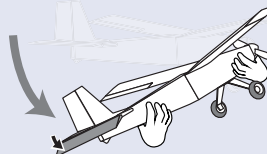


機体を左に傾けてエルロンが右に動作するかチェック

地上で機体を右に振ってみてラダーが左に動作するかチェック



機体を上に傾けてエレベーターがダウンに動作するかチェック



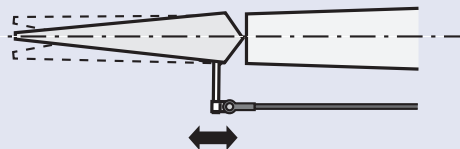
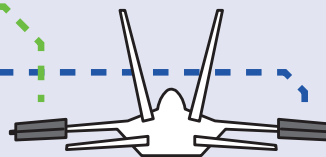
SB/R2 ポートの出力が「S.BUS(HS)」または「S.BUS(STD)」が選択されていると、設定メニューに、AIL3 と AIL4 の設定項目が表示されます。

※ AIL3 と AIL4 の設定は GYA553 本体のボタン設定では設定できません。

設定 3/9 ニュートラルオフセット

設定		Model1 コンディション1		7.6V		3/9	
ニュートラル オフセット							
AIL	+0	AIL2	+0				
ELE	+0	ELE2	+0				
RUD	+0	RUD2	+0				
AIL3	+0	AIL4	+0				

各舵のニュートラル位置を調整できます。



※ AIL3 と AIL4 の設定は GYA553 本体のボタン設定では設定できません。

SB/R2 ポートの出力が「S.BUS(HS)」または「S.BUS(STD)」が選択されていると、設定メニューに、AIL3 と AIL4 の設定項目が表示されます。

ニュートラル位置になるように [△] [▽] キーで調整

設定

設定 4/9 5/9 サーボリミット

設定	Model1 コンディション1	7.6V	4/9
サーボリミット			
AIL	100 %	100 %	
ELE	100 %	100 %	
RUD	100 %	100 %	
AIL3	100 %	100 %	

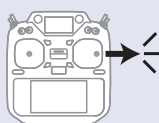
各舵のリミット位置（最大動作位置）を調整します。

設定	Model1 コンディション1	7.6V	5/9
サーボリミット			
AIL2	100 %	100 %	
ELE2	100 %	100 %	
RUD2	100 %	100 %	
AIL4	100 %	100 %	

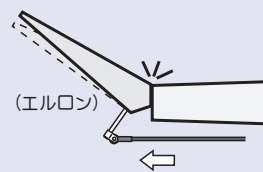
使用している舵は、すべて調整してください。

SB/R2 ポートの出力が「S.BUS(HS)」または「S.BUS(STD)」が選択されていると、設定メニューに、AIL3 と AIL4 の設定項目が表示されます。

※ AIL3 と AIL4 の設定は GYA553 本体のボタン設定では設定できません。



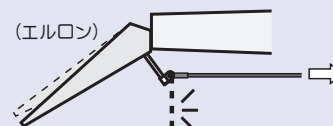
エルロン・スティックを右フル操作して



最大動作位置になるように数値 (%) を調整



エルロン・スティックを左フル操作して



最大動作位置になるように数値 (%) を調整

設定

設定 6/9 保持力の調整

AVCS モード時の機体の姿勢保持力を調整できます。

数値を小さくすると保持力が弱くなり、操作フィーリングがノーマル・モードに近づきます。

送信機のチャンネル操作で、現在のナンバー C1 ~ C5 を表示します。

送信機のフライト・コンディション機能のように、送信機からのスイッチ操作で、AVCS モードの機体の姿勢保持力レートを最大 5 通りのデータを設定して、切替えて使用することができます。送信機の AFR 機能のあるチャンネルに保持力レート切替スイッチを設定し、AFR のポイントカーブで各レート毎にポイントを設定して切り替えることができます。フライトコンディション機能を使用して、フライト・コンディション・スイッチと連動させることも可能です。

設定 Model1
コンディション1 7.6V 6/9

保持力 C3 / BK

AIL	100	C3
ELE	100	C3
RUD	100	C3

各レート (C1 ~ C5) 切替ボタン

切替ボタンで、各レート (C1 ~ C5) の「保持力」を表示し、調整することができます。

S.BUS ベーシック画面 2/4

Model1
コンディション1 7.6V 2/4

保持力 CH12 C3 / BK

-100 0 100

C2 P2

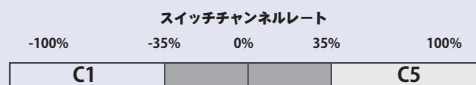
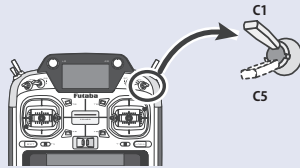
C3 P3

C4 P4

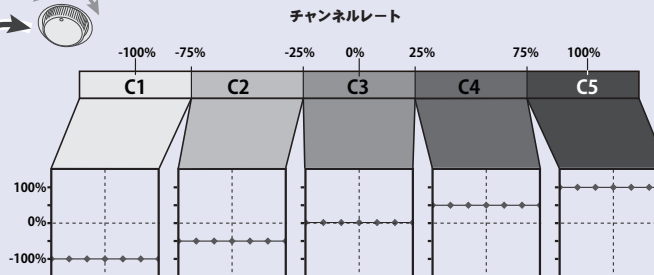
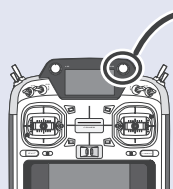
C5 P5

送信機のチャンネル操作で、現在のナンバー C1 ~ C5 のチャンネルポジションが緑表示になります。

DG1 または DG2 の SW に設定した場合



ダイヤルやレバーに設定した場合



設定

設定 7/9 4D フライトジャイロリバースモードの調整

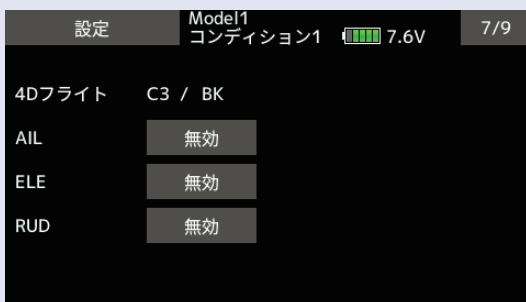
7 ページ目は、ジャイロリバースモードの設定になります。バック飛行時に、エルロン、エレベーター、ラダーの制御方向をリバースにするかの選択を行います。通常バック飛行時は、全ての舵の操舵方向が逆になりますので、ジャイロの制御方向もリバースにします。

前進 (FW)、バック (BK) の切り替えは、保持力と同様の CH12 の信号を使っています。スロットルスティックの midpoint 付近から上側が前進、下側がバックになります。

詳細の切り替えポイントの設定については、送信機の設定を参照願います。

ジャイロリバースモード時は、機体の傾き方向と同方向にジャイロが制御します。前進・バックと切り替えて、ジャイロの制御方向が正しく切り替わるかの確認してください。

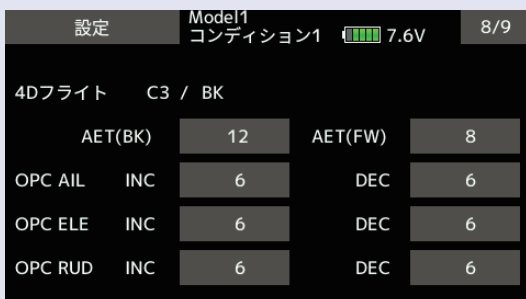
S.BUS ベーシック画面 3/4



設定 8/9 4D フライトモードの調整

8 ページ目は、ジャイロ動作の細部のパラメーター設定を行います。

AET (BK), AET (FW) 機能は、前進、バック遷移時の機体の飛行姿勢の推定を行い、ジャイロ制御を最適化します。機体姿勢変化が早い場合は値を小さくします。姿勢変化が緩やかな場合は値を大きくします。前進、バック遷移時の補正値を独立に設定できます。設定範囲は 0 ~ 30 です。OPC パラメーターは、制御量の増加と減少時の速度調整を行います。設定範囲は 0 ~ 27 です。設定例の値は、SkyLeaf-ST の標準設定値になります。機体の特性や、フライトスタイルにより最適値が変わります。



7-8 ページは 4D バック飛行の設定です。詳細の設定は Futaba ホームページ T26SZ,T16IZ(S) GYA553 4D フライトセッティングマニュアルをご参照ください。

設定 9/9 リセット

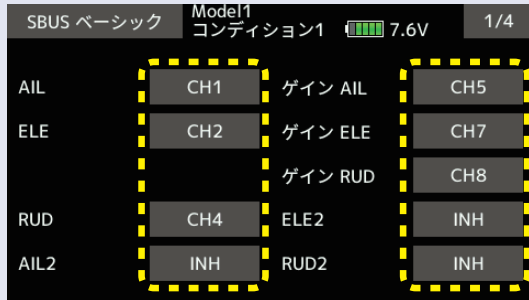


各設定項目のリセットを行います。実行後は出荷時の初期値に戻ります。

Gyro setting GYA553

SBUS ベーシックメニュー

使用する送信機に合わせて、各ファンクションの CH 設定をします。使用しないファンクションは INH に設定します。

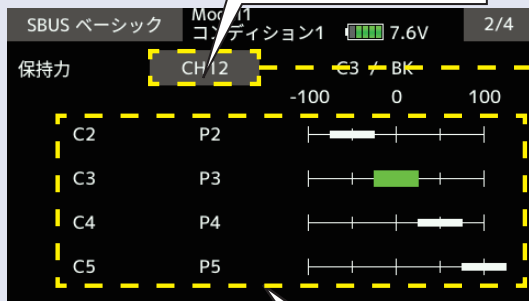


タッチするとチャンネル
が変更できます。

タッチするとレート切替 CH 設定
ページへ移動します。

警告

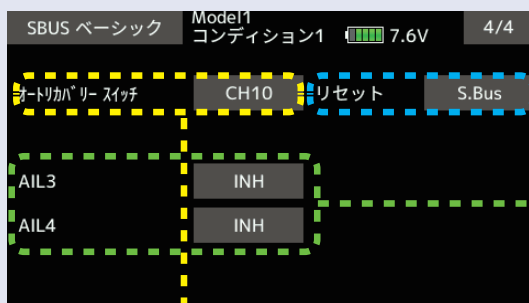
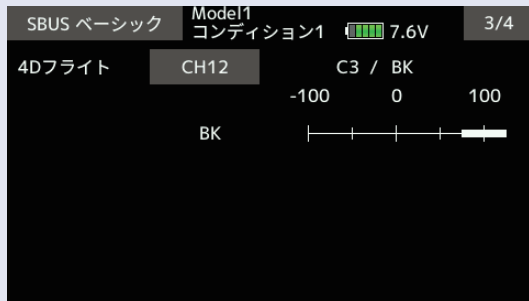
① ジャイロと送信機が接続している場合のみ、設定変更が可能です。ジャイロと送信機の CH が必ず一致するように設定します。送信機の CH を変更した場合、ジャイロも変更が必要です。



保持力レート C2~C5



レート切替に使用する CH をタッチし
て選びます。



オートリカバリーを ON/OFF
させるスイッチのチャンネル
設定です。

SBUS ベーシックメニューでの
設定項目をリセットします。

SB/R2 ポートの出力が「S.BUS(HS)」または「S.BUS(STD)」が選
択されていると AIL3 と AIL4 の CH 設定項目が表示されます。
ここで、AIL3 と AIL4 の操作 CH を設定すると、ジャイロ制御
された信号が、S.BUS 出力の該当 CH に出力されます。

※ 送信機側のファンクション設定画面の操作 CH と CH 設定と
合わせてください。

※ AIL3 と AIL4 の CH 設定が INH のときは、ジャイロ制御されず、
送信機から送られたデータがそのまま出力されます。